

前へふみ出す力

「質実剛健」「独立自治」
本質を見極め、自らを治めるといふ本校建学の精神が、
新たな創造と伝統の継承を両立させてきました。
110年以上もの長い間受け継がれる歴史の重みは、
常に前へ一歩踏み出す勇気の積み重ねによって築かれたものです。
伝統の本質を見極め、今また将来にむけ、新たな創造にチャレンジしていく。
それが、「明治」です。



MOVE FORWARD FROM HERE

ごあいさつ



校長
井家上 哲史

1912年に旧制明治中学校として設立、110有余年の歴史を持つ本校は、明治大学の直系付属校として幾多の優秀な人材を輩出してきました。2008年に神田猿樂町から調布の地に移転、同時に男子校から共学校へと変化してきましたが、「質実剛健」「独立自治」の校訓のもと、次世代の人材を育成しております。

「質実剛健」には、鶴澤総明初代校長が当時の生徒達に語った「第一級の人物」としての資質を持ち、健やかに育ち、社会のリーダーになって欲しいという願いが込められています。「独立自治」は、私学の雄として学問の独立を保つこと、そして生徒がお互いに協力しながら問題解決を図っていくという精神を表しています。

本校では、学業成績などが一定基準を越えれば、明治中学校から明治高等学校、さらに明治大学へと全員が進学できます。入学後は生徒同士が協力し、互いに切磋琢磨しながら成長していけばよく、競争をする必要はありません。中学からの6年間あるいは高校からの3年間を通して身につけた基礎学力をもとに、大学や大学院で高度な理論や技術を学び、専門分野の探究をしてもらいたいと考えています。本校における直系付属校としての教育の本質は、卒業後の各方面でも耐えうるような基礎学力を強化することであり、高校2年次修了まで文理に分けることなく全員が多様な科目の勉学に励み、総合的な基礎学力の修得と人格形成ができるところです。

現代社会は、旧制明治中学校が設立された一世紀前と比較すると、世界中の情報へのアクセスが格段に容易になり、かつ情報量も膨大なものとなっています。語学を始めとする多様な基礎学力や教養がなくては、グローバル社会で活躍していくことはできません。我が国や世界をリードする「第一級の人物」を養成することのできる学校として、次の時代をリードする存在でありたいと思います。

教育方針

- 創造性や個性を伸ばすことで、21世紀を担う「生きる力」を養う
- 知性・感性・体力のバランスのとれた、人間性あふれる人物を育てる
- 学校行事や班・部活動等を通じ、「質実剛健」「独立自治」の精神を養う

「第一級の人物」を目指して

01 教科指導

いたずらに先を急ぐより、
大学に向けた基礎・基本を大事にする

本校が求めている最終学力は、単なる知識の量や問題を解くテクニックではありません。問いを分析し考える力、物事の本質を見抜く力、それを他者に表現する力です。その学力を養成するためにも、週6日制で授業時間を確保し、中学・高校の正課科目の多くを必修として確実に基礎学力の土台を完成させます。付属校といっても「エスカレーター式」ではありません。生徒には、進級・推薦基準を満たすことが求められ、緊張感のある学びの場となっています。基礎・基本を大切に、応用力・協働性・学びに向かう力が伸ばせるよう、学校行事、語学研修なども連動して教科指導を進めています。

02 生徒指導

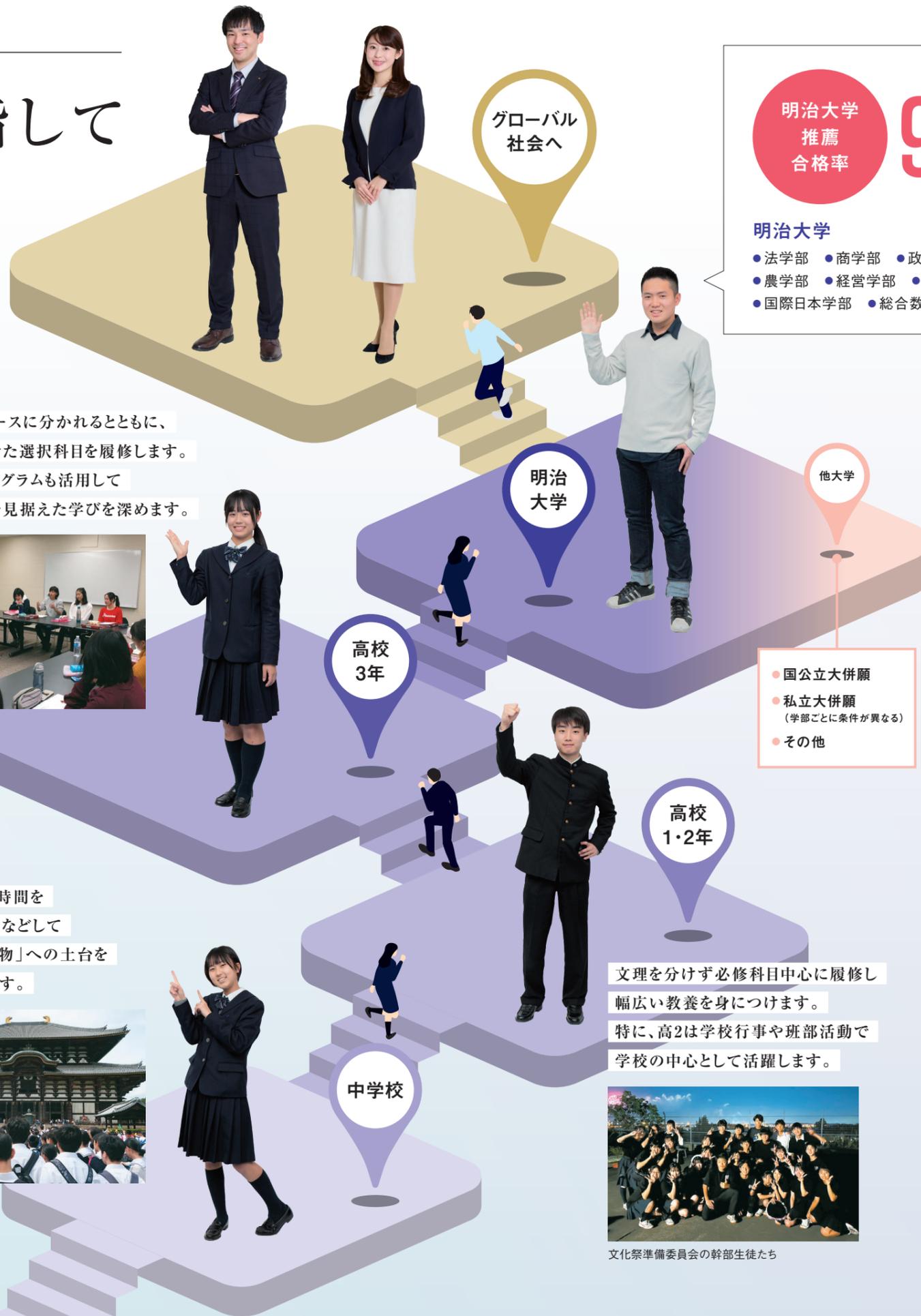
社会での活躍を見据えて、
仲間と乗り越える経験を積む

本校は校則についても、学校行事についても「なんでも自由な学校」ではありません。日々の生活指導では、社会に出て活躍するための素地を作るべく、また学校行事や班部活動などを通し、集団のなかで活躍するための社会力・精神力を育ててほしいと考えています。学校行事は「独立自治」の精神を実現すべく、生徒主体で行われます。また、中学生のほとんど、高校生の約90%が班・部活動に参加し、文武両道を目指しています。卒業生を含めた先輩が後輩を指導する姿は、本校の誇る伝統の一つです。

03 進路指導

自分を高めるための時間を活かし、
自分のキャリアを定める

受験勉強に振り回されずに時間を活かせること。それが付属校の大きな長所です。「大学で何を学ぶのか」「将来どんなキャリアを目指すのか」をじっくり考える機会と時間があり、きめ細やかな進路指導を行います。また、将来を見据えて、資格取得などの勉強を進めることもできます。教科に関連した英検・漢検はもちろん、大学を見据え、独語、仏語、中国語、TOEIC、TOEFL、簿記などの講座を用意しています。



文系・理系コースに分かれるとともに、
進路に合わせた選択科目を履修します。
高大連携プログラムも活用して
大学進学後を見据えた学びを深めます。



ヨーク大学
3ヶ月研修

5教科に授業時間を
重点配当するなどして
「第一級の人物」への土台を
丁寧に育てます。



中3修学旅行
(奈良・京都方面)

文理を分けず必修科目中心に履修し
幅広い教養を身につけます。
特に、高2は学校行事や班部活動で
学校の中心として活躍します。



文化祭準備委員会の幹部生徒たち

明治大学
推薦
合格率

96.1%

推薦進学率*

92.1%

※明治大学に推薦合格した生徒のうち、実際に明治大学に進学した生徒の割合。

明治大学

- 法学部 ●商学部 ●政治経済学部 ●文学部 ●理工学部
- 農学部 ●経営学部 ●情報コミュニケーション学部
- 国際日本学部 ●総合数理学部

Meijing 「前へ」進み続ける
明校生達がいる。



Advancing

明治での10年間に挑戦を続けました。その土台を作ったのは中高での勉強や部活動です。この先も泥臭く、誠実に「前へ」進んでいきたいです。
株式会社 内田洋行 安田 知輝さん



Embarking

小学生の頃から憧れてきた弁護士。中高の辛い時期も仲間や先生に支えられて目標に到達できました。初心や感謝を忘れず頑張っていきます。
第78期司法修習生(2024年度司法試験合格) 井上 梨琉さん



Trying

明治高校では自由な時間をいっぱい使って「個」を強くしました。海外留学などやれること全部にトライし、今もそれを続けています。
明治大学 文学部 岡 渉さん



Experiencing

ブレコンで入賞しニュージーランド海外研修に行きました。高2では部活の部長や文化祭準備委員会部長などを経験し幅広い学びを経験しました。
明治高校3年 村田 真菜さん



Collaborating

明治中から進学し教室でも部活動でも高校から入学する新たな仲間たちを迎えました。ホームルーム委員として企画した学活では特に仲が深まりました。
明治高校2年 林 快人さん



Challenging

先生たちのオリジナル教材による授業が楽しく、部活動も充実しています。同級生とのバンド活動にも夢中で、将来文化祭のステージに立ちたいです。
明治中学校3年 野中 葵さん

学びの基礎を

丁寧に固め

「個」をしっかり

伸ばします



01 十分な時間を確保して
丁寧に教え、
じっくり考えさせます。

本校では平日6時限・土曜4時限で、十分な授業時間を確保しています。また週1回ずつ英語と数学の補習講座を7時間目に設定しています。自分に合う勉強方法が見つからなかったり、部活動などの影響でやり残した部分が出てきたりした生徒にも丁寧に指導するための時間です。また教科によっては多少の「先取り」学習もありますが、いたづらに先を急ぐのではなく生徒の状況を見ながら進めていきます。教科指導に関連して、英語検定や校内漢字検定・計算検定などにも取り組んでいます。

02 友達との連帯感、
先生への信頼感、
2つが学びの効果を高めます。

中学校の3年間は思春期の始まりでもあり、生徒は伸び盛りであるが故に精神的に不安定にもなりやすい時期です。人間関係のトラブルから学習に集中できなくなることもあります。本校では生徒が話しかけやすい若手の教員、時には生徒を厳しく鍛える経験豊かな教員をバランスよく配置して指導にあたっています。ただ授業を進めるだけではなく、時には授業をストップしてでも人としてどうあるべきかを語りかける、そういう温かさも大切にしたいと考えています。

英語教育

初めて本格的に英語を学ぶ生徒でも着実に英語力を伸ばしていくために、本校では英語教育に様々な工夫を取り入れています。検定教科書以外の教材を使用したり、インプット・アウトプット活動をたくさんしたり、資格取得を支援したりすることで、進学のためだけでなく、大学・社会で活躍するための土台となる力をつけていきます。

英語週7時間授業

英語授業を週7時間確保し、充実した指導内容・学習量としています。そのうち4時間はクラスを分割し、少人数制授業を実施することで、よりきめの細かい指導を行います。

英語検定

授業を通じて英語力を磨き、その指標として英語検定に挑戦します。明治高校進学基準の中に「準2級1次試験合格」があり、英語学習の目標の一つとして、一生懸命に学習に取り組んでいます。

英語多読

図書館と連携し、多読活動を推進しています。洋書の蔵書数は7000冊を超え、それぞれに難易レベルと総語数が記されています。一冊を気軽に手に取ることから始め、圧倒的な読書量で無理なく英語力を伸ばしていきます。



多読本にはレベルと語数が貼られており、初心者から体系的にインプット活動ができます

カリキュラム

教科	1年	2年	3年	計
国語	5	5	5	15
社会	4	4	4	12
数学	4	5	5	14
理科	4	4	4	12
音楽	1.5	1.5	1	4
美術	1.5	1.5	1	4
保健体育	3	3	3	9
技術・家庭	2	1	2	5
英語	7	7	7	21
道徳	1	1	1	3
特別活動(LHR)	1	1	1	3
合計	34	34	34	102



制服紹介

冬服

夏服



女子は正面から見るとブレザー、後ろから見るとセーラーカラーという個性的なデザイン。夏服は白を基調としたセーラーブラウスで、スクールカラー(紫紺)のラインが2本あしらわれています。冬服・夏服ともに襟元のリボンの色が、中学・高校で異なります。男子は長く親しまれている詰め襟学生服で、夏はロゴマーク入りの指定ワイシャツです。また、男子・女子ともに明治のロゴマーク入りベスト、セーターがあり、寒暖差に合わせて着用することが可能です。

中学生からのメッセージ

テニスコートがら面あるなど体育施設が充実しているので、体育の授業はもちろん、所属している硬式テニス部の活動や中学体育祭などで伸び伸びと体を動かせます。また中学校から本格的に始めた英語では、最初は英単語を覚えるのが大変で、スピーチの際にも準備に苦労しました。しかし、自分の好きなテニスについてみんなの前で話すことができたときには達成感がありました。先輩や同級生たちと一緒に、勉強と部活動の両立に励んでいます。



中学校2年生
菅野 仁都さん

私の時間割(中学校2年生)

	月	火	水	木	金	土
1	美術	社会	社会	理科II	社会	国語
2	理科I	国語	総合英語	総合英語	英文法	体育
3	数学	技術	国語	国語	国語	理科I
4	体育	HR	理科I	美術	英会話	数学
5	総合英語	総合英語	社会	数学	数学	
6	英文法	体育	数学	音楽	道徳	
7			補習(数学)	補習(英語)		

私は小学6年生の頃から理科を特に苦手としていて、中学でも苦労するのではないかと心配していました。しかし、この学校の思わず笑ってしまうような楽しくわかりやすい授業に、その不安は一瞬で吹き飛ばされました。苦手としていた光や音の速さの計算も、先生に質問するなどして克服することができました。また、私は剣道部に所属していますが、中学で初めて竹刀を持ちました。毎回、仲間たちと新鮮な気持ちで稽古に励み、成長を実感しています。これからも勉強面や部活面でもさらに「前へ」と進んでいきたいです。



中学校3年生
藤井 紬衣さん

私の時間割(中学校3年生)

	月	火	水	木	金	土
1	数学	英文法	理科II	総合英語	理科II	数学
2	社会	総合英語	国語	技術	体育	数学
3	体育	国語	音楽	英文法	総合英語	体育
4	英会話	HR	道徳	数学	国語	美術
5	理科I	社会	家庭	社会	社会	
6	国語	数学	総合英語	国語	理科I	
7	補習(数学)			補習(英語)		

高大連携を

活かし

将来を見据えた

教育を実践します



01 基礎学力の徹底

1・2年では文系・理系を隔てることなく、ほぼ全科目を必修とし、幅広い観点から基礎学力を確実に積み上げます。知識と技能に加えて、思考力・判断力・表現力を身につける機会を学習活動の中に取り入れ、知識の活用能力を伸長させます。学力ケアとしては、英語と数学の補習講座を週1回7時間目に設定しています。

02 グローバル社会に期待される資質

21世紀のグローバル社会において、世界の人々に貢献できる真の国際リーダーが求められます。海外で通用する英語力や広い視野、世界に飛び出すチャレンジ精神を持つ生徒を育成するために、海外学習体験や異文化体験、国際交流などを積極的に支援します。また、高校生は留学中の単位を一括認定して、進級学年に復学し、卒業・明治大学への推薦も可能な留学制度が利用できます。

03 探究選択の設置

高2後半から高3前半にかけて「探究選択」を設置。生徒は各教科で開講する13講座の中から、自らの興味に合わせて対象分野を選択します。それまでに培った基礎学力をもとに、高校の学びの集大成として探究的・発展的な学びを深めることで、大学でのより充実した学びにつながります。

04 高大連携の推進

正課科目として明治大学の教員が直接指導する高大連携講座を設置。他にも明治大学との密接な関係を活かし、さまざまな講座やセミナーが用意されています。3年では、文系・理系2コースに分け、さらに生徒の進路や適性に合った専門性の高い授業を展開します。また、簿記や第二外国語などの幅広い選択科目を設け、将来にも活きる広範囲な学力を育成します。

探究選択

探究選択では、国語探究、社会探究、数学探究、物理探究、化学探究、生物探究、体育探究、音楽探究、美術探究、書道探究、英語探究、家庭探究、情報探究の13講座から、生徒の興味関心に合わせて講座を選択します。グループでプレゼンテーションをしたり、個人研究や論文作成をしたり、作品を制作したりするなど、発展的課題に取り組む特色ある授業を展開しています。



カリキュラム

教科	科目	I年		II年		III年文系		III年理系	
		必修	芸術選択	必修	文必修	文I選択	文II選択	理必修	理系選択
国語	現代の国語	2							
	言語文化	2							
	論理国語			2	2				2
	古典探究			2	3				
	古典基礎			2					
	文学国語I			1					
地理歴史	文学国語II				2				1
	実践国語					2			
	地理総合	2							
	地理探究				3				
	歴史総合	2							
	日本史探究				3				
公民	世界史探究				3				
	公共			2					
	倫理					2			
	政治・経済				3				2
	数学I	3							
	数学II			4					
数学	数学III								5
	数学A	2							
	数学B			2					
	数学C								3
	数学総合					2			
	物理基礎			2					
理科	物理								4
	化学基礎	2							
	化学								4
	生物基礎	2							
	生物								4
	化学基礎II			2					
保健体育	生物基礎II			2					
	体育	3		2	2				2
	保健	1		1					
芸術	音楽I		2						
	美術I		2						
	書道		2						
外国語	英語コミュニケーションI	4							
	英語コミュニケーションII			4					
	英語コミュニケーションIII				5				5
	論理・表現II	2				5			
	論理・表現I					2			2
	検定演習I			2					
	検定演習II				2				1
	英語S&W								2
	ドイツ語								2
	フランス語								2
家庭	中国語								2
	家庭基礎	2							
情報	情報I	2							
	情報II								2
総合的な探究の時間	探究選択			1	1				1
	高大連携講座			1	1				1
商業	簿記							2	
	単位合計	31	2	33	29	2	2	29	4
特別活動(LHR)		1		1					1
	合計	34		34		34			34

制服紹介

冬服

夏服



基本的には、男女ともに中学校と同様の仕様となります。女子のリボンの色は、冬服・夏服ともに中学とは異なります。

高校生からのメッセージ

明治高校の特長の一つに、英語教育の環境が整っていることがあります。中3のときにスピーチコンテストのファイナリストに選ばれ、本番までの2か月間、担当の先生に熱心に指導していただいたおかげで自信が付き、本番では堂々とやることができました。奨学金をもらっていたニューヨークではさらに刺激を受けて英語への意欲が高まりました。普段の授業でも即興スピーチやライティングなどの実践的な取り組みが多く、回数を重ねるたびに実力アップを実感できます。恵まれた環境で自分の将来の可能性が広がっていくように感じます。



高校2年生 岡野谷 百香さん

私の時間割(高校2年生)

	月	火	水	木	金	土
1	数学B	数学II	英語コミュニケーションII	古典基礎	英語コミュニケーションI	論理国語
2	論理国語	生物基礎II	保健	体育	数学B	化学基礎II
3	数学II	物理基礎	文学国語I	化学基礎II	世界史探究	公共
4	世界史探究	HR	数学II	生物基礎II	古典基礎	英語コミュニケーションII
5	世界史探究	公共	前 高大連携(後 探究選択)	英語II	体育	
6	検定演習I	英語コミュニケーションI	前 高大連携(後 探究選択)	物理基礎	検定演習I	
7	補習(数学B)		補習(英語)		補習(数学II)	

明治高校では高大連携教育が充実しています。高2前期の高大連携講座では、明治大学全10学部の先生が実際に明治高校に来て、より専門的な内容を教えてくれます。法学部の先生による「模擬裁判」や国際日本学部の先生による「コーヒーを通して世界を知る」授業が印象に残っており、このおかげで自分に合う学部の選択に近づいた一方で、これまで知らなかった各学部の魅力も発見し逆に学部選択の悩みも増えてしまいました。今後さらに考えて、自分の納得する進路につなげていきたいです。



高校3年生 文系 古川 樹さん

私の時間割(高校3年生)

	月	火	水	木	金	土
1	検定演習II	古典探究	政治・経済	日本史探究	論理・表現II	論理国語
2	文学国語II	文系選択II	体育	検定演習II	政治・経済	文学国語II
3	体育	文系選択I	論理国語	論理・表現II	文系選択I	英語コミュニケーションII
4	英語コミュニケーションII	HR	英語コミュニケーションIII	古典探究	文系選択II	日本史探究
5	日本史探究	政治・経済	前 探究選択(後 高大連携)	地理探究	地理探究	
6	地理探究	英語コミュニケーションII	前 探究選択(後 高大連携)	英語コミュニケーションIII	古典探究	
7						

高2の2学期から始まった探究の授業に魅力を感じています。私が受講している生物探究では基本的な実験から遺伝子組み換え実験など授業ではできないことにチャレンジできます。探究選択は13講座の中から自分の進路学部に関係なく選ぶことができるので、自分のやりたいことに挑戦することもよい機会です。普段の授業とは異なり、探究では生徒が主体となって学習することが多く、最初は少し戸惑いましたが、回数を重ねると自分のすべきことがわかってきて、スムーズに活動を進められるようになりました。



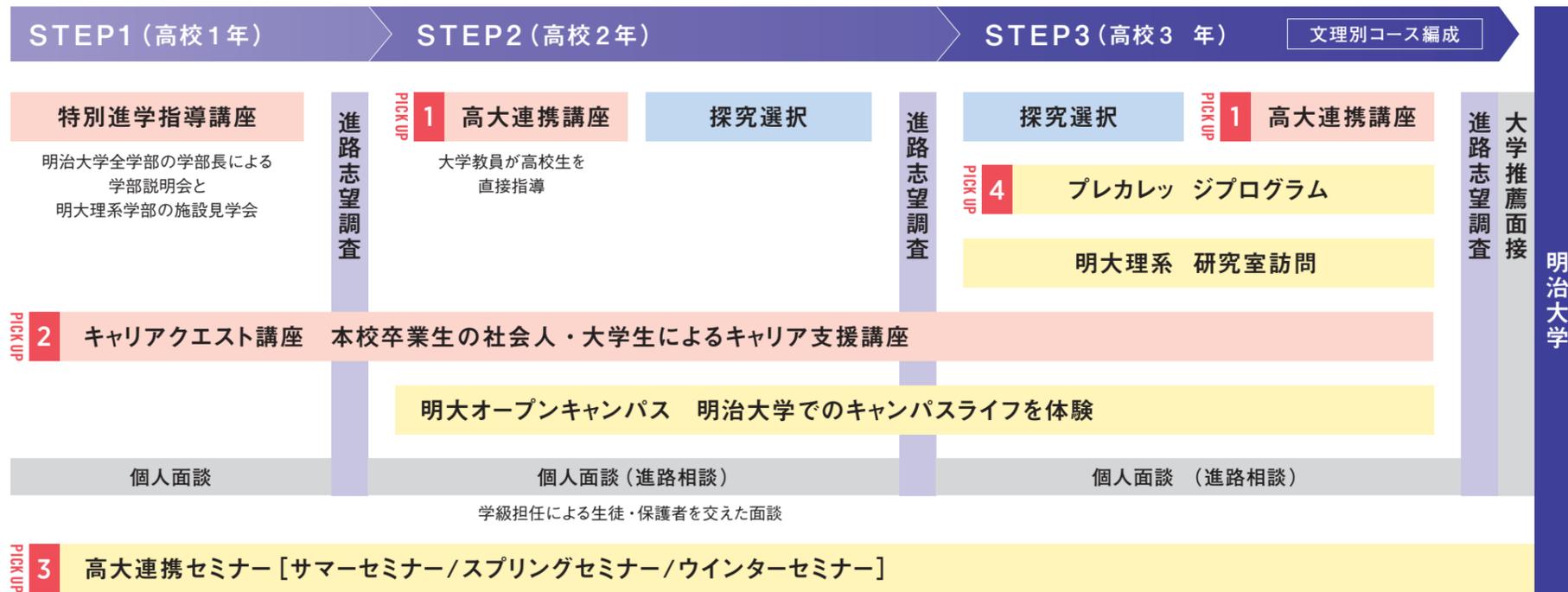
高校3年生 理系 板垣 里穂さん

私の時間割(高校3年生)

	月	火	水	木	金	土
1	政治・経済	論理国語	数学III	論理・表現II	数学III	体育
2	検定演習II	理科選択(物理/生物)	数学C	英語コミュニケーションIII	英語コミュニケーションIII	英語コミュニケーションIII
3	化学	英語コミュニケーションII	理科選択(物理/生物)	化学	理科選択(物理/生物)	数学C
4	数学C	HR	論理国語	政治・経済	理科選択(物理/生物)	化学
5	数学III	英語コミュニケーションII	前 探究選択(後 高大連携)	化学	論理・表現II	
6	英語コミュニケーションIII	文学国語II	前 探究選択(後 高大連携)	数学III	体育	
7						

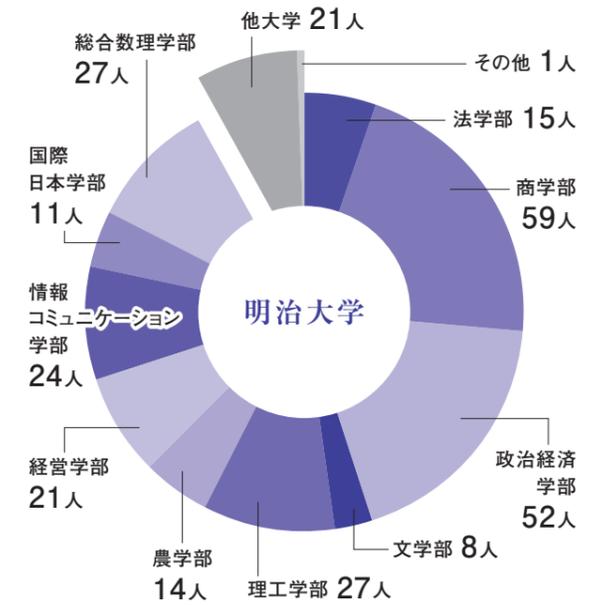
高大連携教育

明治大学進学へのステップ



進路状況

▶ [進学先] 2024年度卒業生 (280名中)



明治大学
推薦
合格率

96.1%

推薦進学率*

92.1%

※明治大学に推薦合格した生徒のうち、実際に明治大学に進学した生徒の割合。

きめ細かな進路指導

恵まれた推薦制度と密接な高大連携体制によって、生徒一人ひとりの希望がかなうよう指導しています。高1～高3にかけて、学級担任や教科担当としてOB・OG等が一体となって進路決定をサポートしていきます。明治高等学校の使命の1つに、優れた資質の卒業生を「学生の核となる人材」として明治大学に入学させることがあります。実際、毎年多くの生徒が、自分の希望進路に沿った明治大学の学部に進学しています。

推薦制度

生徒は、高校3年間の学習成績(英検2級・TOEIC450点以上を含む)と人物・適性・志望理由に基づいて明治大学に推薦されます。国公立大学(含む指定大学校)の場合、明治大学の推薦資格を保持したまま併願受験できます。私立大学の場合は、志望する明治大学の学部・学科ごとに条件が異なりますが、一部併願可能です。

卒業生からのメッセージ

もともと理系志向が強かったこともあり、高1の生田キャンパス訪問や高2前期の高大連携講座を受け、キャンパスや研究のイメージをつけることができました。そして高3で受講した理工学部のプレカレッジプログラム「機械加工」では、高校では学べない「切削加工・研削加工」について詳しく学ぶことができ、自分の進路選択に間違いはなかったと確信すると同時に、高校まで学習してきたことが大学での専門的な学びの土台となっていることを痛感し、日々の授業の大切さを再認識することができました。



明治大学 理工学部
手塚 聡樹さん

部活動の先輩が公認会計士に大学在学中に合格したことを聞き、資格に関心をもちました。忙しい部活動の合間に高大連携セミナーで簿記の勉強を始め、高3で簿記2級を取得しました。簿記の勉強はパズルを解くようで面白く、自分に合っていると感じ、商学部への進学を決めました。大学1年で簿記1級を取得。大学2年から3年にかけての公認会計士試験に合格し、憧れの先輩に資格の上では並ぶことができました。順調に資格を取得できたのは、明治の仲間や先輩の存在、そして高大連携で早めにスタートを切れたことが大きかったです。



明治大学 商学部
土井川 璃月さん

PICK UP 1 高大連携講座

明治大学直系の付属校ならではの講座です。明治大学の教員が毎週2時間、高2前期には明治大学全10学部の紹介をメインに講義し、高3後期には各学部への進学を見据えて専門教育の内容にも踏み込んだ入学準備講座となっています。高2では思い込みにとられない適切な進路選択を可能にし、また、高3では大学進学に向けた先取り学習となります。

PICK UP 3 高大連携セミナー

長期休暇中の短期集中講座です。簿記等の資格取得のほか、模擬裁判、英語力向上、理科実験、プログラミング入門等を夏休み、春休み、高3の3学期に実施します。正課科目にはない講座の受講をきっかけに、プラスアルファの知識が得られ、将来のキャリアプランに役立ちます。司法試験、公認会計士試験合格につながった卒業生も多くなっています。



高大連携講座の一コマ



高大連携セミナー「法曹入門講座」の模擬裁判

PICK UP 2 キャリアクエスト講座

110年以上の歴史を持つ本校は、多彩な卒業生が各界で活躍しています。第一線で活躍する弁護士、建築士、国家公務員といった方々を講師として招き、裁判を傍聴したり、建築士の仕事の一部をワークショップ形式で体験したりすることができる講座です。現場経験が豊富な先輩たちからお話が伺える貴重な機会です。

PICK UP 4 プレカレッジプログラム

高3の希望する生徒が放課後に明治大学の一部の授業を受講し、修得した単位が大学入学後に明治大学の学部単位として認定される制度です。大学の授業をそのまま先取り受講することによって、高度な知識を身につけ、より早く専門的な学習をスタートさせることはもちろんのこと、自分の進路選択のきっかけとすることもできます。

その他の取り組み

明大理系研究室訪問
高3理系の生徒たちが志望学部の研究室を訪問し、大学の研究を直接体験します。

明大経理研究所 早期入室制度
一定の資格を有した生徒には経理研究所への早期入室が認められ、公認会計士資格取得の準備を進められます。

高大連携プログラムの動画はコチラ

明治大学 留学説明会など

大学長メッセージ

PRESIDENT'S MESSAGE

明治大学は、江戸時代が終わって僅か13年後の1881年に、法律を学んだ3人の若者が、「権利自由、独立自治」の精神をもって創立した明治法律学校に起源を發します。それ以来、幾多の困難を乗り越えたとともに、例えば、日本で初めて女子に専門的法学教育の門戸を開放し、2024年春のNHK連続テレビ小説「虎に翼」の主人公のモデルで日本初の女性弁護士・判事・裁判所所長となった三淵嘉子等、多くの女性法曹(裁判官、検察官、弁護士)を輩出するなど、常に時代を先駆ける取組みをしてきました。現在では、10学部16研究科を有し、60万を超える卒業生を擁する、私学の雄となっています。入学試験志願者数も4年連続で10万人を超えています。

そのような中で、明治中学校、明治高等学校の生徒は、学業成績などが一定基準を超えれば、高等学校へ、明治大学へと進学できます。その意義は、いわゆる入学試験を受けなくても進学できる、というようなどころにはありません。明治中学校と明治高等学校の6年間、または、明治高等学校の3年間、本当の勉強ができるということです。本当の勉強とは考える勉強です。入学試験において受験者の知識の量を問うことを放棄することは困難です。したがって、正解を記憶するという作業

も必要にならざるを得ません。

しかし、本来、学問には唯一の正解などというものはないのです。さらに言えば、研究は問題そのものを自分で見つけるのです。なにが解決すべき問題なのか、その問題をどう分析するか、物事の本質を論理的に見極められるか、他者にどう伝えるか、これらを身に付けることが勉強なのです。この勉強は、大学での学修に直ちに役に立ちます。社会において「第一級の人物」たるためにも必須です。そして、なにより、こういう勉強は楽しいです。

明治大学付属明治中学校・明治高等学校で、ぜひ本当の勉強を楽しんでください。そういう皆さんの進学を明治大学は大いに歓迎いたします。



明治大学長 上野 正雄

社会人卒業生からのメッセージ

明治での学びと経験が、社会で活躍する土台に

明治には、幅広い分野の学びを深めるとともに、課外活動や部活動にも全力で取り組める環境があり、私もそのなかで様々な挑戦をしました。中高6年間、仲間とともに目標に向かって努力し続け、礼儀や責任感を学んだ応援指導班での経験は、社会に出た今も大きな財産となっています。卒業後も続く人とのつながりも、就職活動や社会人生活で心強い支えとなりました。また、高校3年生のとき、学校の廊下でポスターを見つけて始めたプログラミングへの挑戦は、大学での専攻選択、さらには現在の仕事へと結びついています。明治で得た学びと経験は、社会で活躍するための確かな土台となっています。

日本IBM
コンサルティング事業本部
矢頭 春香さん



3/41

明治高校は41年間生きている私があった「3年間」だけ通った学校です。でも、その3年間のおかげでその後の23年間を豊かに生きることができたと思っています。私の頃の付属は暇でした。先生、友達、先輩、後輩からたっぷり刺激を受け、自分は何者なのか？自分は何をして生きていきたいのか？を考えることができました。学問も重要ですが、「自分」を見つける時間ときっかけを明治は与えてくれました。人には色々な基準があると思いますが、僕は今人生最高に楽しいです。

株式会社 FIREBUG
代表取締役CEO、東京学芸大学客員准教授
佐藤 詳悟さん



学部・学科

法学部	法律学科	農学部	農学科／農芸化学科／生命科学科／食料環境政策学科
商学部	商学科	経営学部	経営学科／会計学科／公共経営学科
政治経済学部	政治学科／経済学科／政策学科(2026年度より募集開始予定)*／地域行政学科(2026年度より募集停止)*	情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科
文学部	文学科／史学地理学科／心理社会学科	国際日本学部	国際日本学科
理工学部	電気電子生命学科／機械工学科／機械情報工学科／建築学科／応用化学科／情報科学科／数学科／物理学科	総合数理学部	現象数理統計学科(2026年度より現象数理学科より名称変更予定)*／先端メディアサイエンス学科／ネットワークデザイン学科

*2025年3月現在構想中。名称その他計画に変更が生じることがあります。

大学院

- 法学研究科
- 商学研究科
- 政治経済学研究科
- 経営学研究科
- 文学研究科
- 理工学研究科
- 農学研究科
- 情報コミュニケーション研究科
- 教養デザイン研究科
- 先端数理科学研究科
- 国際日本学研究科
- グローバル・ガバナンス研究科

専門職大学院

- ガバナンス研究科
- グローバル・ビジネス研究科
- 会計専門職研究科
- 法務研究科

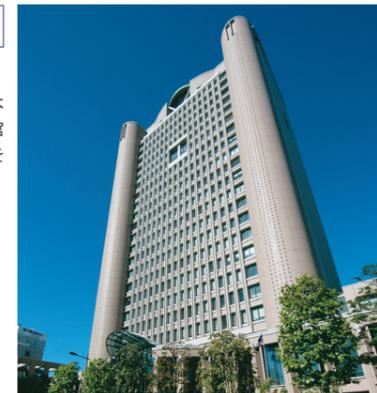
駿河台キャンパス

2031年の明治大学創立150周年記念事業の一環として駿河台キャンパス総合施設整備計画「SURUGADAI 6.0」始動

- JR「御茶ノ水駅」徒歩3分
- 丸の内線「御茶ノ水駅」徒歩4分
- 千代田線「新御茶ノ水駅」徒歩5分
- 半蔵門線、都営三田線、都営新宿線「神保町駅」徒歩8分

リバティタワー

対象：文系学部3・4年
都心型大学「明治大学」の本拠地。創立120周年記念館「リバティタワー」は各種設備を備えた23階建ての校舎。



グローバルフロント

対象：大学院
「世界に発信する最先端の研究拠点と陶治の場」をコンセプトとした環境に配慮した17階建ての校舎。



和泉キャンパス



対象：文系学部1年・2年／大学院
2022年に誕生したラーニングスクエア(上写真)は、グループボックスなど学生の学び・交流を促進する空間が多く設けられている。
●京王線、京王井の頭線「明大前駅」徒歩5分

生田キャンパス



対象：理工学部／農学部／大学院
緑豊かな生田キャンパスは、理系の学生や大学院生が学んでおり、最新の実験・研究設備が整っている。新校舎「センターフォレスト」が2025年1月に完成した。
●小田急線「生田駅」徒歩10分

中野キャンパス



対象：国際日本学部／総合数理学部／大学院
国際化、先端研究、社会連携の拠点キャンパス。他大学、商業施設、公園と隣接。他キャンパスとのアクセスも良好。
●JR・東西線「中野駅」徒歩8分

明校生の一日



動画は
コチラ

登校 ~8:30

スクールバスは全15台でローテーション運行しています。8:35からのSHRでは出欠席確認や連絡事項を伝達します。



スクールバスが
駅からキャンパス内まで
運んでくれるので
安心です



授業 (午前) 8:50~12:40



和気あいあいとした雰囲気
のなか、分からないことをそ
のままにしない姿勢を大切に
します。どの先生も面白く質
問がしやすいです。

各授業の間の休み時間は、
友達と過ごす大切な時間。
広々とした廊下で楽しげな
声が響きます。

休み時間 (各10分)



昼休み 12:40~13:20



食堂やカフェテリア、天気の
良い日にはテラス。気分が
合わせてランチ場所を選べ
ます。教室ではお弁当を囲
む笑い声が絶えません。

昼休みでリフレッシュ。楽し
い先生の話はいつでも中身
が濃く、ノート作りも自分な
りに工夫しています。これが
明校生の基本です。

授業 (午後) 13:20~15:10



課外活動 15:30~18:00*



毎日生活する教室をきれいにしたら、放課後のスタート。部活動や学校行事の準備など、好きなことに熱中する時間です。
※中1一学期の部活動は17:00まで。

生徒を見守る職員

守衛室

本学の生徒はみなさん礼儀正しく、朝夕気持ちよい挨拶をしてくれています。私たちは生徒全員が快適に学校生活を送ることができるよう、校内に出入りする人の確認やバス運行に伴う安全確認などに努めています。これからも笑顔の交流が続くよう、しっかりとみなさんの安全を守っていきたくと思っています。

カウンセリングルーム

中学生、高校生は身体が急激に成長する一方、精神的には不安定になることの多い時期です。家庭や学校での対人関係に悩みがあっても、この年齢であれば当たり前かもしれません。相談室では、本人は勿論、保護者、先生方と一緒にこれらの状況を考えたり、見直すきっかけを探お手伝いをしています。

保健室

生徒一人ひとりが元気で充実した学校生活を送ることができるよう、保健室では心身の健康をサポートしています。また、生徒たちが心と身体について自主的に管理する態度や能力を養えるよう、例えば体調が悪いのはなぜか、あるいはどこで怪我をしたかなど、原因と一緒に考えるように努めています。

図書館のスタッフ

図書館

学校図書館は生徒のみなさんの教養を育成するためにある施設です。教科の先生が授業で利用するときには、司書教諭と一緒に資料検索やレポート作成の支援をします。また「個人で興味関心のある分野の知識を深めたい」「楽しめる本や泣ける本と出会いたい」「校内でホッとひと息つきたい」というときにも利用できます。

各教科の指導方針

英語

中学では音読や暗唱を徹底して行い、英語力の土台を築きます。中学後半からはスピーチやプレゼンなども行い、理解力だけでなく発信力も身につけていきます。また中高全体で多読を推奨しており、自ら学ぶ力を獲得できるよう指導しています。

- 英語関連行事**
- イングリッシュキャンプ(中学)
 - スピーチ・コンテスト(中3・高1)
 - 海外研修(夏・春)(中3~高3)
 - TOEIC 演習・校内受験(高校)
 - 夏期国内英語研修(高校)
 - プレゼンテーション・コンテスト(高2・高3)
 - ヨーク大学3ヶ月海外研修(高3)

国語

豊かな語彙力を育成し、読解力、表現力を身につけることで思考が深められるように指導します。また、文化や伝統、文学や芸術、自然や社会などへの興味関心の窓を開く言語能力を養うことを目標にしています。それらの土台となる、漢字や読書を重視しています。

芸術

「勇気を持って自分を表現すること」「深い観察をすること」「工夫を凝らしていくこと」を大切に指導しています。また、芸術は自己表現の先に人に伝えるという側面もあります。どう発信していくのかも模索しながら、より個性あふれる自由な感性の育成を目指しています。

数学

数学の概念や原理を理解し、数学的な表現や処理の仕方を習得させるために、問題を解くプロセスや授業に臨む態度の育成に重点をおき、日々指導しています。検定教科書以外の教材も使用し、問題集を中心とした家庭学習にも力を入れています。

技術・家庭

生涯にわたり健康で文化的な家庭生活を営むために必要な価値観を磨き、知識・技術を習得することを目標にしています。また礼儀作法や文化的行事とともに、ものづくり等の体験的学習を通して、より豊かな暮らしを支える力を養います。

理科

実験や観察を多く授業に取り入れ、その結果を整理したり考察したりすることによって知的好奇心や科学的な思考力を養っています。実験室は4室あり、1人1台の顕微鏡をはじめ多くの実験機器がそろっていて、高度な実験を行うこともできます。

保健体育

集団行動の中から、ルールを重んじる態度と精神を育成するとともに、学校生活や社会の場において活かすことができるよう指導しています。また、運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを学ばせることで、生涯を通じ運動と親しむ態度を養います。

社会

中学では、地理、歴史、公民の各分野を段階的に組み合わせることで、社会のあり方を自分なりに認識しその一員として生きることの自覚を促します。高校では、科目ごとに専門性の高い内容を学習し、社会の中で主体的に活動する力強い個を育成します。

情報

年間を通じて「メディア・リテラシー」をテーマに多様なメディアを活用した学習に取り組み、情報リテラシー能力を身につけます。また、グループ学習を通じて表現力、コミュニケーション能力、論理的な思考力を備えた生徒を育てます。

食堂は
中学1年生から
自由に利用できます

PICK UP 学校生活や課外活動などを Instagramでお伝えしています



投稿は
コチラから



施設紹介



1 カフェテリア
 食堂の他に、軽食や飲料の自動販売機を備えたスペース。放課後の学習などに利用する生徒も多くいます。



2 食堂
 学年に関わらず、全生徒が利用できます。食事メニューは充実しており、教室に持ち出せる「テイクアウト弁当」もあります。放課後に利用できるフライドポテトなどの軽食も人気。



9 テニスコート
 5面用意されたオムニコートは、中学・高校の正課体育の授業で、放課後にはソフトテニス部・硬式テニス部の練習で利用されます。



10 グラウンド
 全面人工芝で、サッカーではフルピッチ(105×68m)、軟式野球場では2面、走路では250mトラックと、100m7レーンとして利用できます。

テラス

カフェテリアから続く開放的な屋外スペース。生徒たちがリラックスして語ることができる、ゆとりの空間です。



11 PC教室
 情報の授業をはじめ、様々な授業で活用されるWindowsの教室、Macの教室が合計ふたつ。放課後にも生徒のアクティブな学びを支援します。

12 美術室

中・高それぞれに用意され、美術の授業で利用されます。さまざまな創作活動において、生徒たちのニーズに応える多種多様な道具が揃っています。放課後には美術部が活動しています。



第二体育館
 第一体育館より少しコンパクトな、バスケットボールコート2面を設けた体育館です。冷暖房完備で、体育の授業以外に、放課後のバドミントン部・卓球部の活動場所となります。

第一体育館

バレーボールコートが4面、バスケットボールコートが2面。地下から地上3階まで吹き抜けの、開放感あふれる体育館です。冷暖房完備で、製氷機・給水機があり、トレーニングルームを併設しています。



6 柔道場
 正面2面(150畳)の柔道場は、中学・高校の正課体育の授業と、放課後には柔道部の練習に利用されます。

14 理科実験室

化学・生物・物理それぞれに実験室を配置。専門的な器具・装置が揃い、大学の研究室にも引けを取らない環境で、生徒の研究をサポートします。



15 調理室

調理実習などが行われる調理室。他にも技術室と被服室があり、技術・家庭科の実習が行われます。



7 剣道場
 9×9mの試合コート2面の剣道場は、高校の正課体育の授業と、放課後には剣道部の練習に利用されます。

8 鶴澤総明ホール(講堂)
 初代校長の名を冠した1450名収容の講堂。音響・映像設備も充実しており、式典や文化活動の拠点となります。



16 ホワイエ

都心のキャンパスではなかなか見られない広々とした空間が生徒を迎えます。放課後には応援指導班やダンス部も活動しています。



動画でも見られます

Meiji University
 前へ進む場所
 Meiji High & Junior High School

年間行事

※例年の年間行事を記載しています。
諸般の事情により変更される可能性があります。

紫紺祭 (文化祭・全校)

本校でもっとも大きな行事の一つで、スクールカラー「紫紺」にちなみ、こう呼ばれます。高2を中心とした文化祭準備委員会が運営を担います。



中学体育祭 (中学校全学年)

3学年を縦割りにして競い合う体育祭は中学生にとって最大の行事です。体育の授業で練習を重ねた成果を披露します。



高3歓送会(全校)

在校生全員で高校3年生を送り出します。全校生徒とともに歌う最後のスクラム校歌とともに高校3年生は卒業に向かいます。



東京六大学野球応援(中1・高1)

「白雲なびく、駿河台…」神宮球場で大学と同じ本校の校歌を歌い、直系付属校の一員であることを強く意識する行事です。



高校スポーツ大会(高校全学年)

お揃いのクラスTシャツをまとい、クラス対抗で行う大会。大変な盛り上がりみせ、生徒同士のつながりを実感する行事です。



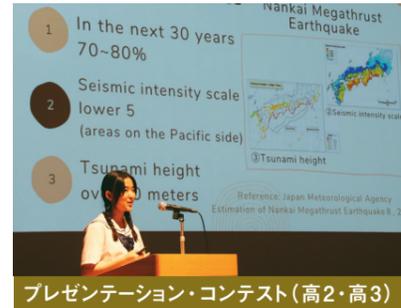
高大連携セミナー(高校全学年)

高大連携セミナーではさまざまな講座が展開されます。明治大学の施設で、バーチャルリアリティ(VR)を学ぶ講座も人気です。



スピーチコンテスト(中3・高1)

中3・高1全員がMy Future Dreams for the Societyというテーマの英語スピーチに取り組みます。予選を勝ち抜いた入賞者全員には海外研修のための奨学金が付与されます。



プレゼンテーション・コンテスト(高2・高3)

高2・3の全生徒が英語原稿を書き、書類審査・予選を経て、入賞者がプレゼンを行います。入賞者には語学研修のための奨学金が付与されます。



卒業式

明治大学理事長・学長など多くの要職者の参列の下、鶴澤総明ホールにて、高校・中学校ごとに生徒と卒業生保護者が一堂に会して行われます。

● 中学の行事 ● 高校の行事 ● 共通の行事 ● その他の行事

4月 APRIL	5月 MAY	6月 JUNE	7月 JULY	8月 AUGUST	9月 SEPTEMBER	10月 OCTOBER	11月 NOVEMBER	12月 DECEMBER	1月 JANUARY	2月 FEBRUARY	3月 MARCH
-------------	-----------	------------	------------	--------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	---------------	----------------	-------------

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|--|--|--|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 入学式 ● 始業式 ● 新入生オリエンテーション ● 保護者会 ● 新入生歓迎会 ● リーダー研修会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 中間考査 ● 東京六大学野球応援(中1・高1) ● 修学旅行(中3) ● 林間学校(中1・高1) ● 移動教室(中2) ● 学年・学級活動(高2・高3) | <ul style="list-style-type: none"> ● 高校スポーツ大会 ● 授業参観 ● プレゼンテーション・コンテスト ● キャリアクエスト講座(公務員) ● 理系研究室訪問 | <ul style="list-style-type: none"> ● 期末考査 ● 保護者会 ● 終業式 ● 夏期補習 ● 高大連携サマーセミナー | <ul style="list-style-type: none"> ● 夏期海外研修 ● 国内英語研修 | <ul style="list-style-type: none"> ● 始業式 ● 実力考査・業者模試 ● 業者模試 ● 紫紺祭(文化祭) | <ul style="list-style-type: none"> ● 中間考査 ● 特別進学指導講座(理系学部・高1) ● 中学体育祭 ● キャリアクエスト講座(建築実習) | <ul style="list-style-type: none"> ● 創立記念祝日 ● キャリアクエスト講座(裁判傍聴) ● 特別進学指導講座(文系学部・高1) ● 修学旅行(高2) ● 芸術祭 | <ul style="list-style-type: none"> ● 期末考査 ● 保護者会 ● 終業式 ● ヨーク大学3カ月留学 ● イングリッシュジャーナル | <ul style="list-style-type: none"> ● 始業式 ● 創立記念日 ● 高校推薦入試 ● 明治高校推薦面接試験 ● 明治大学推薦面接試験 ● 高大連携ウインターセミナー ● スピーチ・コンテスト ● 高3・3学期特別授業 ● 生徒会長選挙 | <ul style="list-style-type: none"> ● 中学入試 ● 高校一般入試 ● 高3歓送会 ● キャリアクエスト講座(行政研) | <ul style="list-style-type: none"> ● 期末考査 ● 保護者会 ● 卒業式 ● 終業式 ● 高大連携スプリングセミナー ● 中大連携セミナー ● 春期海外研修 ● イングリッシュキャンプ ● キャリアクエスト講座(裁判傍聴) |
|---|---|---|--|--|--|--|--|---|---|--|--|



林間学校(中1・高1)

中1は菅平方面、高1は水上方面でそれぞれ2泊3日で実施します。大自然のなか、クラス・学年にまとまりが生まれる行事です。



移動教室(中2)

中2では主に静岡方面に1泊2日の移動教室を実施し、歴史や産業について学びながら、修学旅行に向けた準備を行います。



修学旅行(中3・高2)

中3は奈良・京都方面で歴史に触れ(3泊4日)、高2は沖縄方面で平和学習・民泊体験などを行います(4泊5日)。



海外研修(中3・高校生の希望者)

夏休み(カナダ、2~3週間)、春休み(豪州、2週間)、カナダ・ヨーク大学3ヶ月研修などがあります。

STUDENTS' VOICE

修学旅行にあたって、班分け・部屋割りの方法などについて委員会でたくさん話し合いました。旅行中は、唐招提寺や東大寺などの歴史的建築の細かな工夫など、現地ではか学べないことをガイドさんから教えてもらいました。宿舎でも仲間たちといつも以上に話ができて、新たな友人の輪も広がりました。準備の過程では大変なことたくさんありましたが、そのおかげで最高の思い出を作ることができました。

中学修学旅行準備委員長(中3時)
高校1年生 片山 瑛輝さん



沖縄修学旅行の準備委員長を務めたことは、大きな責任を感じた貴重な体験でした。旅行のスケジュールや細かい準備に頭を悩ませましたが、委員たちと協力しながら問題を一つずつ解決していきました。沖縄の歴史や文化を学びながら、現地の人と触れ合い、自然の美しさにも感動しました。特に、平和学習として訪れた平和祈念公園では、戦争の悲惨さとその教訓を深く考えました。委員長として、全員が安全に楽しく過ごせるように心がけました。この経験を通じて、リーダーシップの重要性や協力することの大切さを学びました。

高校修学旅行準備委員長(高2時)
高校3年生 山口 斗哉さん



クラブ活動

※2024年度の活動実績です。顧問交代等の諸般の事情により、班・部活動の存続・運営等について変更される可能性があります。
 ※原則、中学生は週5日、高校生は週6日までの活動となっています。
 ※水泳部は、2028年度からは通常の活動(練習)は行わず、スイミングクラブ等に所属し、「明治高校・中学校水泳部所属として大会に参加したい生徒」のみが所属する部になります。

班・部活動実績(過去5年)

- サッカー部 関東大会都予選ベスト16(高校)、第9ブロック優勝、都大会第3位(中学)
地区新人大会ダブルス準優勝(中学女子)、都西ブロック2部3位(高校女子)
- バドミントン部 都私学大会3位、都大会出場(中学男子)、都大会ベスト32(高校男子)
- バスケットボール部 IH予選4回戦進出(高校女子)
ジュニアオリンピック予選出場
秋季ブロック大会優勝、都大会ベスト16
- 水泳部 東京都高等学校秋季剣道大会II部女子団体準優勝
東京都高等学校新人剣道大会男子団体ベスト16
第9ブロック優勝、都大会ベスト16
- 硬式野球部 全国私学大会出場(高校)、都大会団体ベスト8(中学)
- 剣道部 都私学大会ベスト16(高校)、多摩大会団体優勝(中学)
関東大会支部第3位、都大会出場(高校)
- 中学野球部 都大会ベスト8、関東大会出場(高校男子)、都大会一部大会出場(高校女子)
- 男子硬式テニス部 インターハイ出場、全国中学校スキー大会出場、国体出場、ジュニアオリンピック出場
- 女子硬式テニス部
- 柔道部
- パレーボール部
- スキー部

- 地理研究部 「私たちの身のまわりの環境地図作品展」日本地理学会長賞
全国読書大会(日本書道美術院主催)日本書道美術院賞
- 書道部 「歴史研究」に論文掲載
- 歴史研究部 全日本学生美術展推奨・特選・佳作入選
- 美術部 全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール
イタリア総領事賞、優秀賞
- マンドリン部 全国学芸サイエンスコンクール(自然科学研究部門・高校生の部)入選
高校生フィルムコンテスト最優秀賞・演技賞
「eiga worldcup 2020」入選・優秀監督賞
- 化学部 DANCE CLUB CHAMPIONSHIP
(全国高等学校ダンス部選手権)決勝大会進出
- 映画部 日本中学校ダンス部選手権全国決勝大会進出
信毎フォトコンテスト入選
- ダンス部 東京都高等学校文化祭中央大会放送部門(朗読部門・3年の部)第2位
- 新聞班 東京都吹奏楽コンクールA,B,C組すべてで金賞
- 放送班 ウィン学友協会黄金ホールにて単独公演
- 吹奏楽班

運動部

 サッカー部 部員72名(高)・38名(中) / 活動週4~5日	 バドミントン部 部員70名 / 高中各々活動週4~5日	 バスケットボール部 部員89名 / 活動週5~6日	 水泳部* 部員41名 / 活動週4日	 陸上競技部 部員49名 / 活動週4日	 男子硬式テニス部 部員100名 / 活動週5日(高)・4日(中)	 女子硬式テニス部 部員64名 / 活動週3~4日	 柔道部 部員5名 / 活動週4日
 硬式野球部 部員36名 / 活動週6日	 剣道部 部員46名 / 活動週4日	 中学野球部 部員30名 / 活動週5日	 高校ソフトテニス部 部員43名 / 活動週4~5日	 高校山岳部 部員6名 / 活動週1~2日	 卓球部 部員24名 / 活動週5日	 バレーボール部 部員101名 / 活動週5日(高男子)・週4日(高女子)(中)	 スキー部 部員40名 / 活動週4日

文化部

 地理研究部 部員26名 / 活動週3日	 生物部 部員23名 / 活動週2日	 地学部 部員22名 / 活動週2日	 コンピュータ部 部員9名 / 活動週3日	 美術部 部員20名 / 活動週3日	 マンドリン部 部員23名 / 活動週5~6日	 化学部 部員12名 / 活動週3日	 鉄道研究部 部員20名 / 活動週3日
 書道部 部員28名 / 活動週2~3日	 歴史研究部 部員18名 / 活動週3日	 ESS 部員11名 / 活動週2日	 物理部 部員9名 / 活動週3日	 JRC 部員3名 / 活動週1日	 映画部 部員32名 / 活動週3日	 ダンス部 部員54名 / 活動週3日	

班活動

学校に対する奉仕的な活動を行う団体

 生徒会本部 班員120名 / 活動週1~6日	 新聞班 班員14名 / 活動週1日	 放送班 班員7名 / 活動週1日	 応援指導班 班員54名 / 活動週3日	 吹奏楽班 班員87名 / 活動週5~6日	 図書班 班員26名 / 活動週2日
---	--	--	--	---	--



よくあるご質問

学習について

Q 宿題・小テストは多いですか？

A 中学生には1日1時間半くらいの宿題や課題があります。小テストは各教科必要に応じて実施しています。学習習慣を身につけるためには、自宅での学習も大切です。高校生にも相応の宿題が課されますが、自ら課題を設定して探究するものも増えていきます。

Q 塾に通う生徒は多いですか？

A 塾に通う生徒は中学で3割程度、高校で2割程度です。本校では、生徒の学力状況に応じて週1回の補習を行っているほか、1学期の成績が振るわなかった生徒を対象に夏期補習も行っています。生徒一人ひとりの学ぶ意欲を大切にしており、質問しやすい環境が整っています。

中学から高校への進学について

Q 中学から高校への進学はどうなっていますか？

A 中学から高校への推薦には、中学3年の2学期末までの成績において、全ての教科で40点以上、主要5教科(国社数理英)平均が55点以上であることに加え、英検準2級(1次試験)以上に合格していることが必要です。毎年ほとんどの生徒が明治高等学校に進学しています。

Q 高校から入る生徒は中高一貫生と同じクラスになるのですか？

A 最初から同じクラスになります。明治中学校では英語と数学で若干の先取り学習を行っていますが、学力差を心配するほどではありません。生活面で不安を感じる場合もあるようですが、5月下旬の林間学校が終わるころには高校入学生も学校になじみ、楽しく過ごしています。

学校生活について

Q 生徒の平均通学時間はどれくらいですか？

A 本校生徒の通学時間は平均70分程度ですが、2時間かけて通っている生徒も珍しくありません。スクールバス利用を原則とし、ほとんどの生徒が1時間前後かけて通学しています。バス利用方面は、京王線方面と中央線方面から各4割、南武線方面から各2割程度となっています。

Q スクールバスの所要時間はどれくらいですか？

A 学校までは、調布駅から約20分(飛田給駅から約10分)、三鷹駅、矢野口駅から約25分です。8:35の始業時間に間に合う最終バスの発車時刻は、飛田給駅が8:15、三鷹駅が8:01、矢野口駅が8:00です。下校時の最終バスは各方面とも平日が18:30、土曜日が17:30で、これが最終下校時刻です。

Q 食堂の利用に制限はありますか？お弁当の持参率は？

A 中学生を含め、全ての生徒が食堂を利用できます。毎日お弁当を持参する生徒が約7割、食堂と半々の生徒が2割程度います。6種類ある日替わりメニューには、教室でも食べられるテイクアウト弁当もあります。

Q 校則は厳しいですか？

A 本校は決して「なんでも自由」な校風ではありません。学校行事の運営に生徒の自主性が発揮される一方、社会の一員としての意識を持つためにも、あいさつ、服装、頭髪などきちんと指導しています。染髪、ピアス、アクセサリー、化粧などは禁止です。携帯電話(スマートフォン)は許可制です。

Q 中学生と高校生と一緒に活動する場はありますか？

A 基本的には中高同じ校舎で学校生活をおくります。文化祭やクラブ活動も、一部を除いては、中学生と高校生と一緒に活動しています。



学費等について

Q 3年間の諸費用を教えてください。

A 学費(入学金、授業料、教育充実料)以外に、制服などにかかる費用や教材の購入費、研修旅費、スクールバス代などをご負担いただいています。これらの諸費用をすべて合わせますと3年間で60万円ほどかかりますが、それ以上に価値のある教育をしたいと考えています。

その他

Q 奨学金制度はありますか？

A 成績・人物を基準として入学後の家計急変に配慮した学修支援奨学金、海外語学研修参加者を対象とした海外語学研修奨学金、成績・人物等優秀者を対象とした特待生奨学金、高校一般入試成績優秀者を対象とした高等学校入学時特待生奨学金の4つの制度(すべて給付型)があります。

Q 入試の優遇措置はありますか？

A 中学入試では、第2回入試において、第1回入試の受験者を対象に3点の優遇措置があります。帰国生優遇もあり、2年以上の海外在住で4年生の3月以降に帰国の場合は5点、5年以上在住で5年生の3月以降に帰国の場合は10点の加点があります。高校入試では、一般入試において、推薦入試の受験者を対象に5点の優遇措置がありますが、帰国生優遇はありません。

Q 留学はできますか？

A 中学生は、夏休み中などの語学研修を除き留学はできません。ただし保護者の海外勤務に伴う措置として、一旦退学し、そこから1年以内であれば面接試験で選考の上、再入学ができます。この場合、中学3年の2学期開始までに再入学する必要があります。高校生は、1年間の留学に関する2つの制度が利用できます。帰国時に進級して復学する制度と、進級せずに原級で復学する制度ですが、それぞれ本校の定める資格があります。いずれの場合も、高校3年の2学期開始までに復学している必要があります。

入試情報

2026年度生募集要項(予定)

諸般の事情により、日程変更の可能性があります。

	中学校		高等学校	
	第1回	第2回	一般	推薦
募集人数	男子約45名/女子約45名 (帰国生含む)	男子約30名/女子約30名 (帰国生含む)	男子約30名/女子約30名	男子約20名/女子約20名 (指定校推薦含む)
出願期間	1月10日(土)~1月26日(月)15:00		1月26日(月)~2月3日(火)	1月15日(木)と1月16日(金)
出願手続	Web出願受付		Web出願受付	Web出願および窓口受付
入学試験日	2月2日(月)8:15集合	2月3日(火)8:15集合	2月12日(木)8:15集合	1月22日(木)8:15集合
試験教科	国語・算数・理科・社会		国語・英語・数学	適性検査(国・英・数)・面接
合格発表日	2月2日(月)22:00(予定)	2月3日(火)22:00(予定)	2月12日(木)22:00(予定)	1月23日(金)9:00(予定)
入学手続	2月6日(金)		2月20日(金)	1月26日(月) 13:00~15:00

2025年度入試結果

(入試結果)	中学校					
	第1回			第2回		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
志願者数	324	334	658	279	270	549
受験者数	277	310	587	156	171	327
合格者数	108	90	198	36	40	76
実質倍率	2.56	3.44	2.96	4.33	4.28	4.30
受験者平均点	183.23			197.72		
合格者平均点	218.39			235.29		
合格最低点	195	205	195	221	220	220

(試験時間と配点(一般))

教科	時間(分)	配点(点)
国語	50	100
算数	50	100
理科	40	75
社会	40	75
合計	—	350

※第2回入試で、第1回の受験者には3点加算。

※帰国生優遇は、2年以上の海外在住で、4年生3月以降の帰国の場合は5点加算。5年以上の海外在住で、5年生の3月以降に帰国の場合は10点加算。

(生徒数・学級数)

学年	男子	女子	クラス数
1年	86	83	5
2年	94	82	5
3年	85	88	5

(入試結果)	高等学校					
	一般			推薦(指定校推薦除く)		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
志願者数	388	252	640	53	44	97
受験者数	357	238	595	53	44	97
合格者数	156	84	240	16	16	32
実質倍率	2.29	2.83	2.48	3.31	2.75	3.03
受験者平均点	154.09			78.71		
合格者平均点	184.76			93.16		
合格最低点	160	162	160	75	79	75

(試験時間と配点(一般))

教科	時間(分)	配点(点)
国語	50	100
英語	60	120
数学	50	100
合計	—	320

(試験時間と配点(推薦))

教科	時間(分)	配点(点)
国語	40	50
英語	40	50
数学	40	50
合計	—	150

(生徒数・学級数)

学年	男子	女子	クラス数
1年	139	136	7
2年	137	149	7
3年	137	131	7

※一般入試で、推薦入試の受験者には5点加算。

※帰国生優遇はありません。

学費等(2026年度)

	入学手続時	中学校			入学手続時	高等学校		
		1学期	2学期	3学期		1学期	2学期	3学期
学費	入学金	300,000円	—	—	300,000円	—	—	—
	授業料	—	263,500円	210,800円	158,100円	—	251,000円	200,800円
	教育充実料	117,500円	—	94,000円	70,500円	117,500円	—	94,000円
諸費用	生徒会費	—	5,000円	—	—	5,000円	—	—
	PTA入会金	10,000円	—	—	—	10,000円	—	—
	PTA会費	—	22,000円	—	—	22,000円	—	—
合計	427,500円	290,500円	304,800円	228,600円	427,500円	278,000円	294,800円	221,100円
初年度合計	1,251,400円				1,221,400円			

TOPICS

明大三研究所による講座を開催

明治大学国家試験指導センターを構成する法制研究所、経営研究所、行政研究所の3組織と連携した講座が開催されました。各研究所の大学教員や国家資格を取得した先輩たちの話など、「All Meiji」で生徒たちのキャリア教育を支援しています。

